

< ATI 研究助成成果発表会 >

2021 年度研究助成成果発表会が、5 月 27 日(木)に開催されました。昨年に続くオンライン開催でありましたが、37 名と多くの関係者のご参加をいただきました。

はじめに遠藤理事長と森田選考委員長に開会挨拶をいただきました。続いて奨励賞授賞式が行われ、森田選考委員長による賞状授与、トロフィー及び副賞の贈呈となりました。



森田選考委員長



遠藤理事長

今年度の奨励賞授賞者は相良剛光（東京工業大学 物理理工学院 准教授）氏と都甲 薫（筑波大学 数理物質系 准教授）氏のお二人です。受賞者のご挨拶では、研究助成により研究の進展が図られたとの感謝の言葉をいただきました。

【奨励賞】

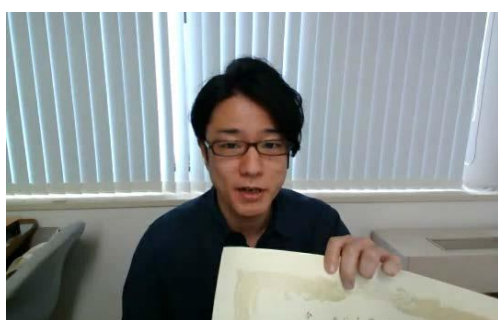
「シクロファンを用いた機械的刺激を鋭敏に検知する複合材料の開発」

相良剛光（東京工業大学 物理理工学院 准教授）



「プラスチック上多層グラフェンの創製と革新二次電池への応用」

都甲 薫（筑波大学 数理物質系 准教授）



奨励賞受賞講演では、相良先生、都甲先生より研究助成での成果を踏まえ、その後の研究の進展のお話があり、質疑でも活発な議論が行われました。

【2019 年度研究助成 終了報告】

「ナノワイヤを基盤とした次世代尿解析技術の創出」

安井 隆雄（名古屋大学大学院 工学研究科 准教授）

「アトムハイブリッド法を応用したサブナノ領域科学の開拓」

塚本 孝政（東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所 助教）

昨年度の成果発表会は11月に開催されたため、2019年度研究助成採択者4名(5名中1名は採択後辞退)のうち2名は、昨年終了報告をいたしました。

【2020年度研究助成テーマ報告】

「ダイヤモンド量子センサによるナノスケール拡散イメージング」

荒井 慧悟 (東京工業大学 工学院電気電子系 助教)

「ポリマーナノ複合材料によるソフトロボティクス触覚センサの創出」

関根 智仁 (山形大学大学院 有機材料システム研究科 助教)

「時計タンパク質のナノ構造チューニングによる生体リズム精密制御」

古池 美彦 (自然科学研究機構 分子科学研究所 助教)

「並列ジョセフソン接合間に流れる非局在超伝導電流の制御」

松尾 貞茂 (理化学研究所 創発物性科学研究センター 基礎科学特別研究員)

「高次三次元ナノカーボンの環化カップリング合成と物性解明」

村上 慧 (関西学院大学 理学部 准教授)

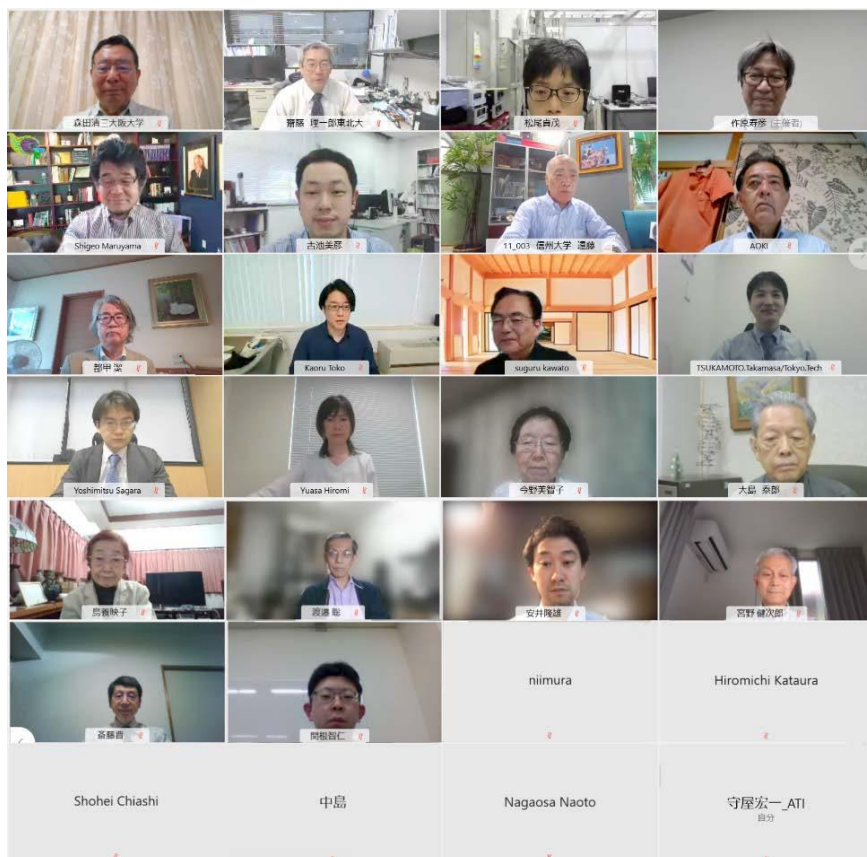
2020年度研究助成採択者5名の方には研究構想、現在の進捗状況等を専門外の方にも理解できるように発表をいただきました。

【オンラインディスカッション】

今年も、オンラインディスカッションは齋藤選考副委員長に座長をお願いし、齋藤座長の絶妙な進行で時間を忘れ、活発な議論をいただきました。



齋藤選考副委員長



来年はリアル開催ができるようお願いしまして、報告とさせていただきます。

(作原記)